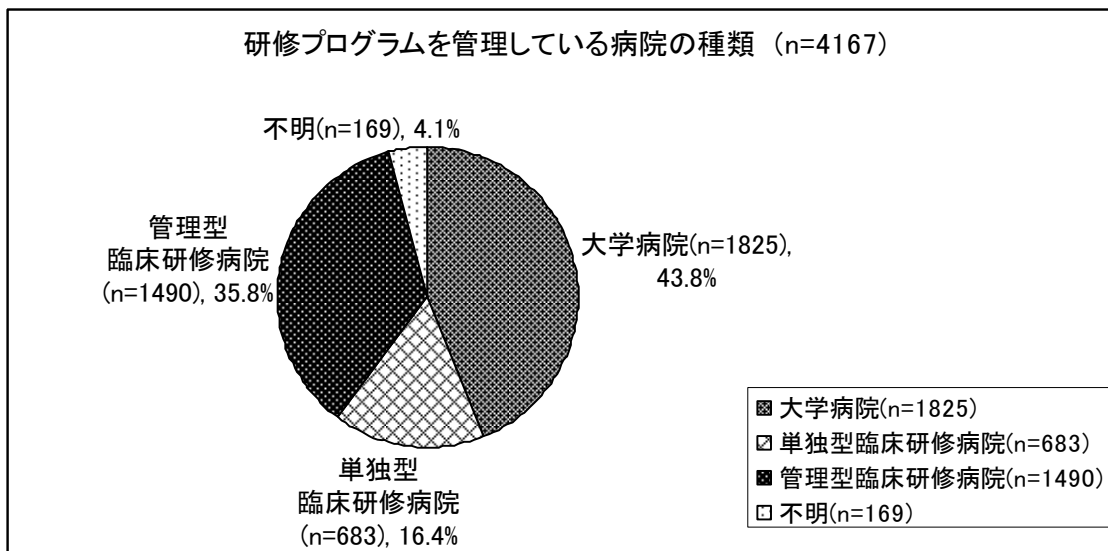


1.研修2年次生に関する調査

(1)研修医のプログラムを管理している病院について

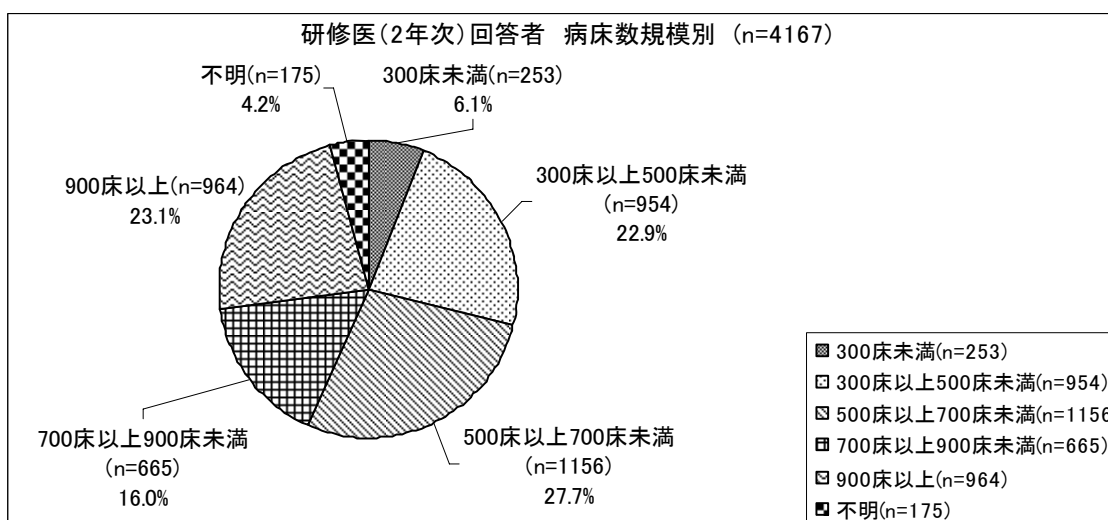
1)研修医のプログラムを管理している病院の種類

研修医のプログラムを管理している病院は、大学病院 43.8%、臨床研修病院 52.2%であった。



2)研修プログラムを管理している病院の規模

研修プログラムを管理している病院の規模は、300床未満 (6.1%)、300床以上500床未満 (22.9%)、500床以上700床未満 (27.7%)、700床以上900床未満 (16.0%)、900床以上 (23.1%) であった。

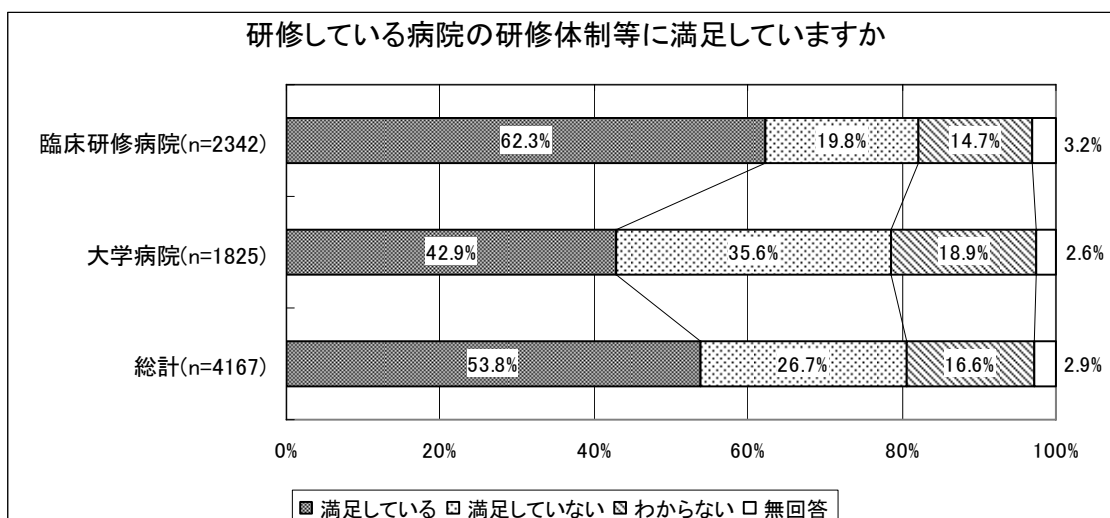


(2)臨床研修病院・大学病院別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

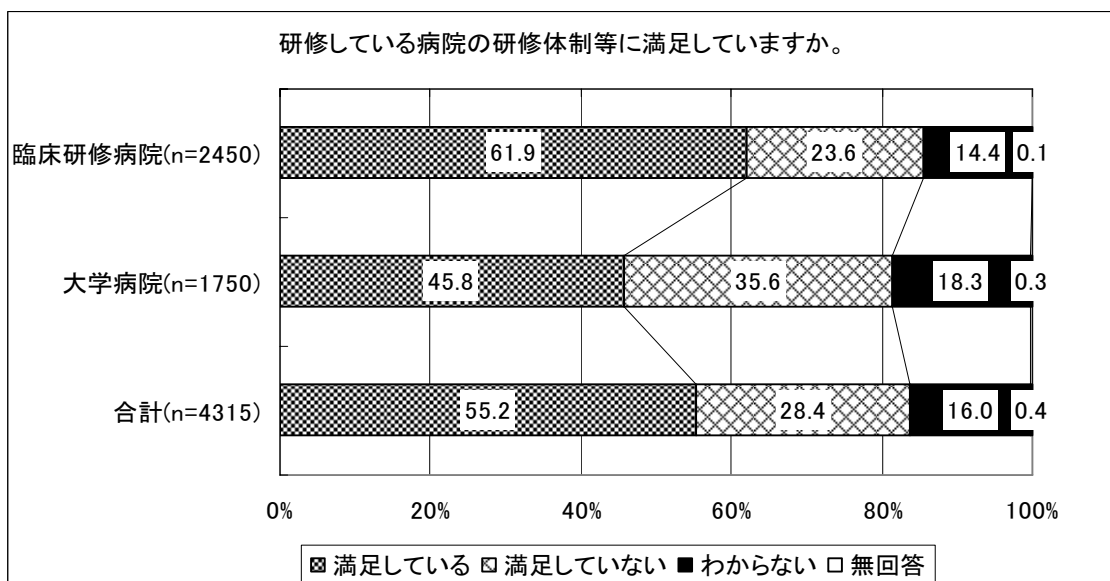
1)研修体制等についての満足度

研修体制等についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度(1年次研修医)の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が0.4ポイント増加、満足していない者が3.8ポイント減少しているが、大学病院では満足している者が2.9ポイント減少、満足していない者は増減しなかった。

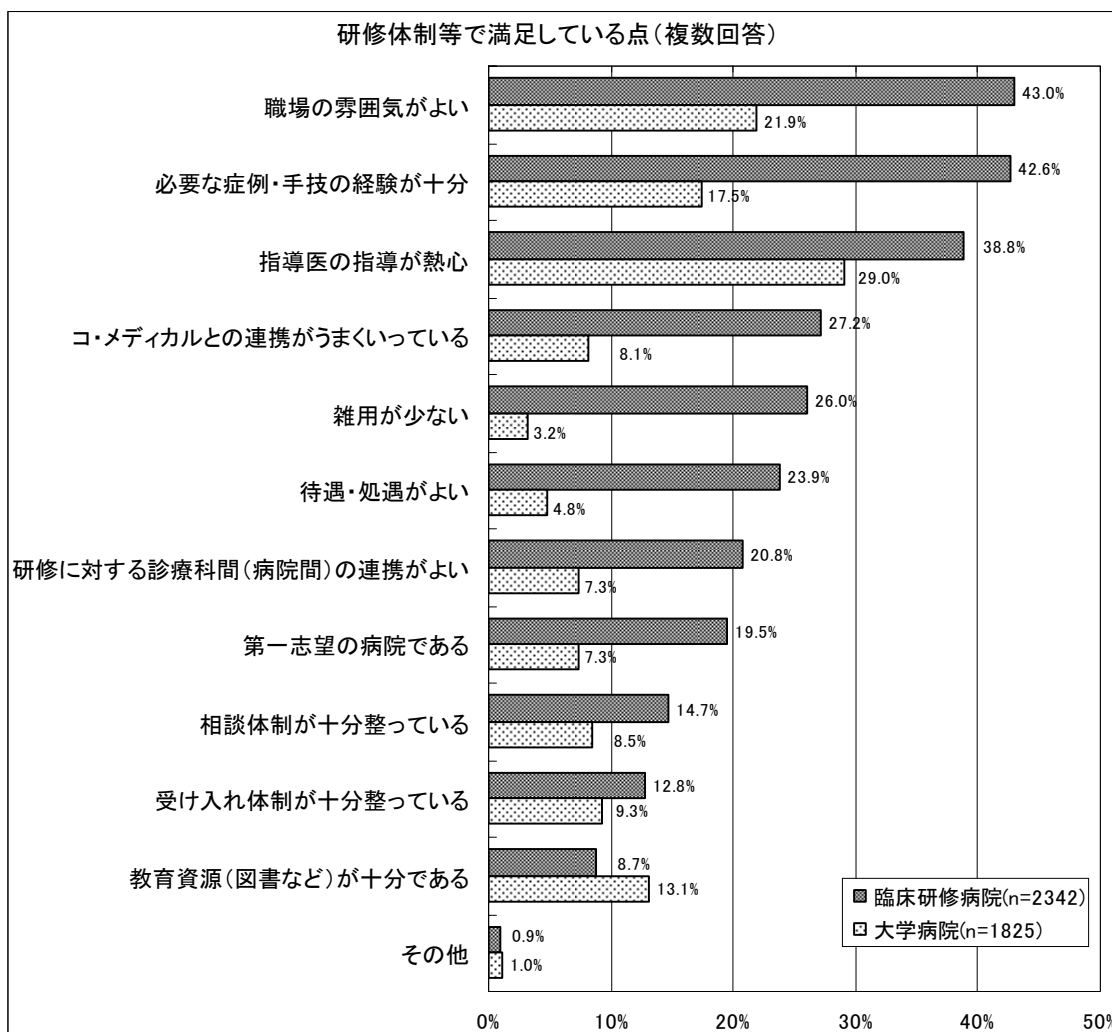


<参考> 17年度1年次「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



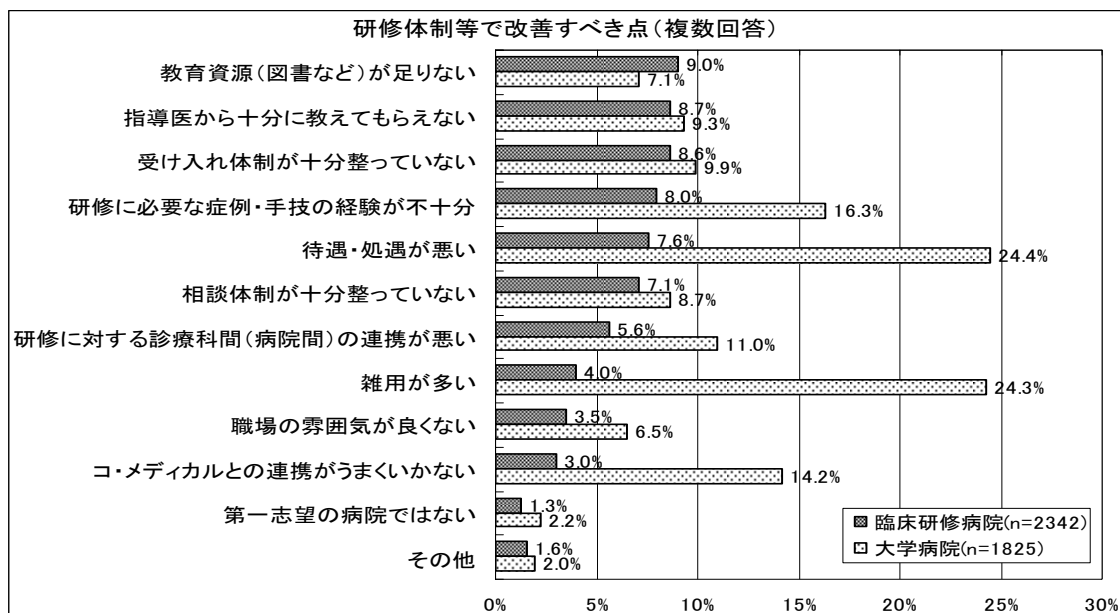
2) 研修体制等で満足している点

研修体制等に満足している点としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気がよい」(43.0%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(42.6%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(29.0%)等が多い。

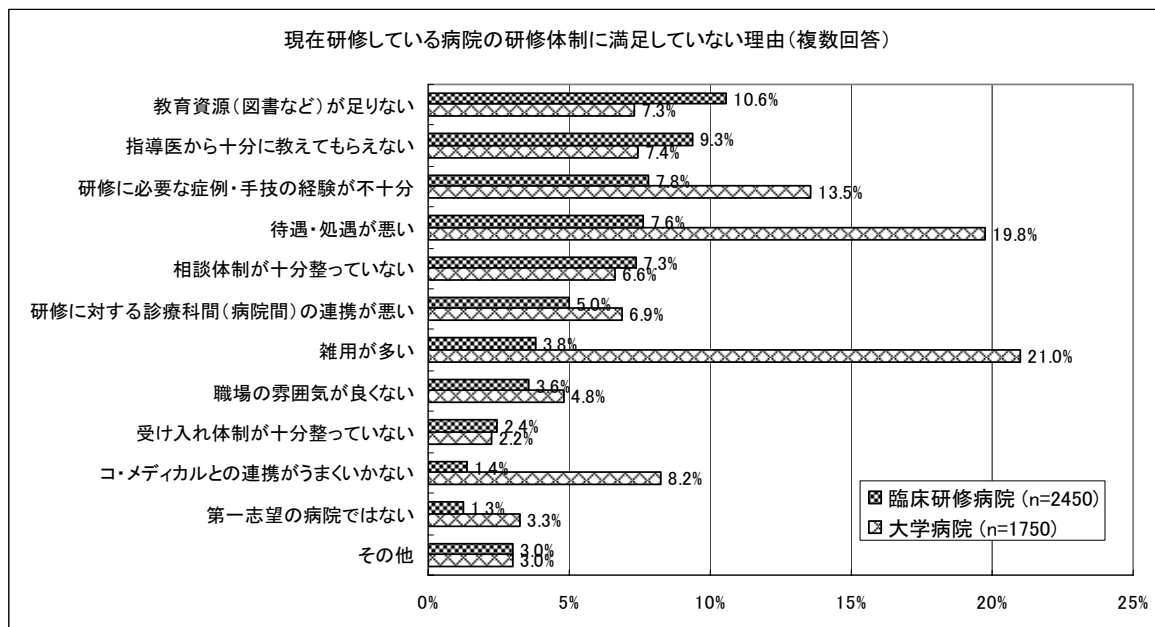


3) 研修体制等で改善すべき点

研修体制等で改善すべき点は、臨床研修病院においては「教育資源が足りない」(9.0%)、大学病院においては「待遇・処遇が悪い」(24.4%)、「雑用が多い」(24.3%) 等が多い。



<参考> 17年度1年次「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



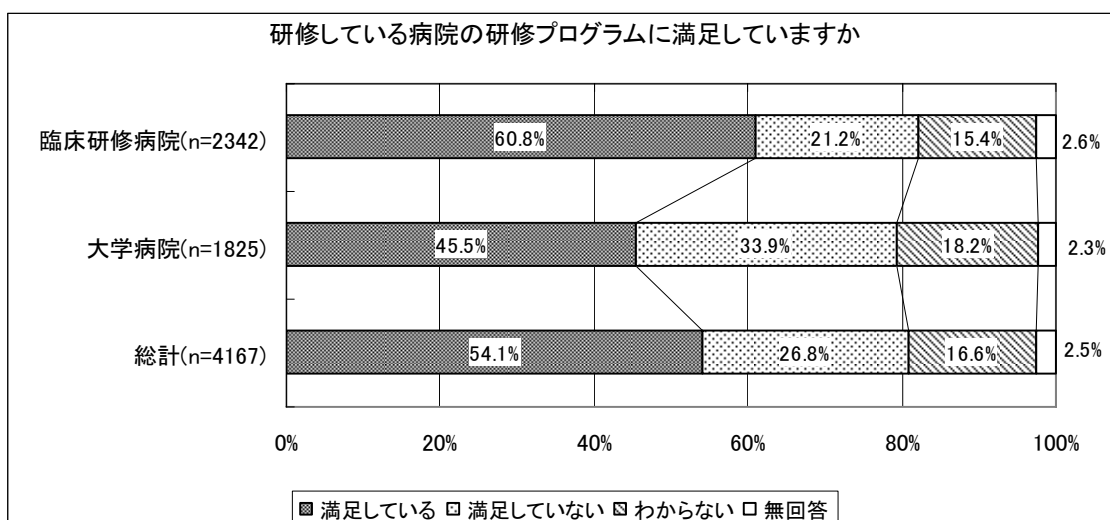
※平成17年度の調査票では、「満足していない」と回答した場合のみ理由を回答する形であったが、平成18年度の調査票では、すべての対象者が「改善すべ

き点」を回答する形となっている。

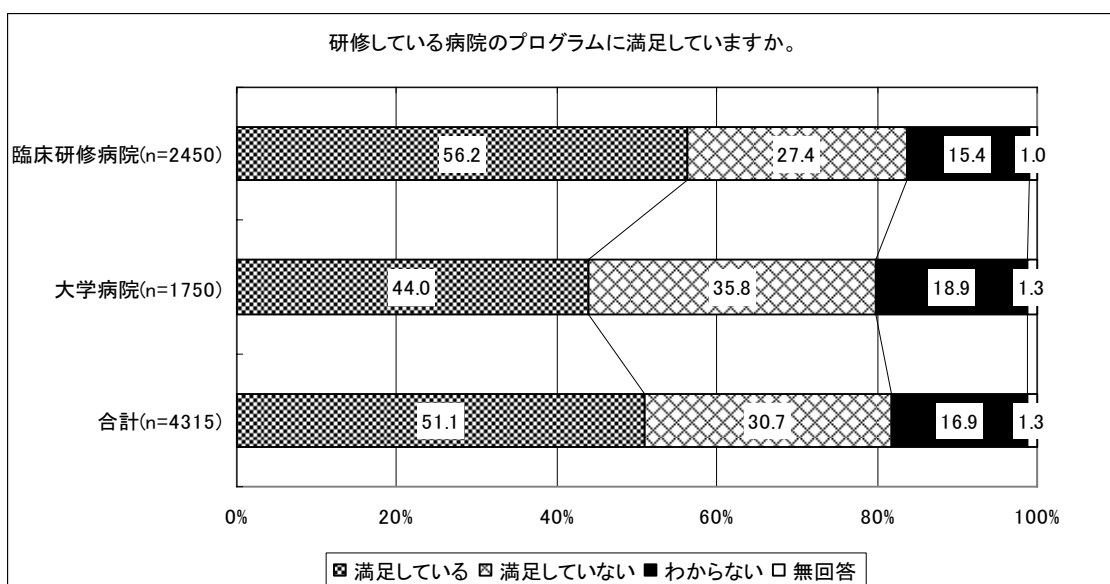
4) 研修プログラムについての満足度

研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が4.6ポイント増加、満足していない者が6.2ポイント減少、大学病院では満足している者が1.5ポイント増加、満足していない者は1.9ポイント減少している。

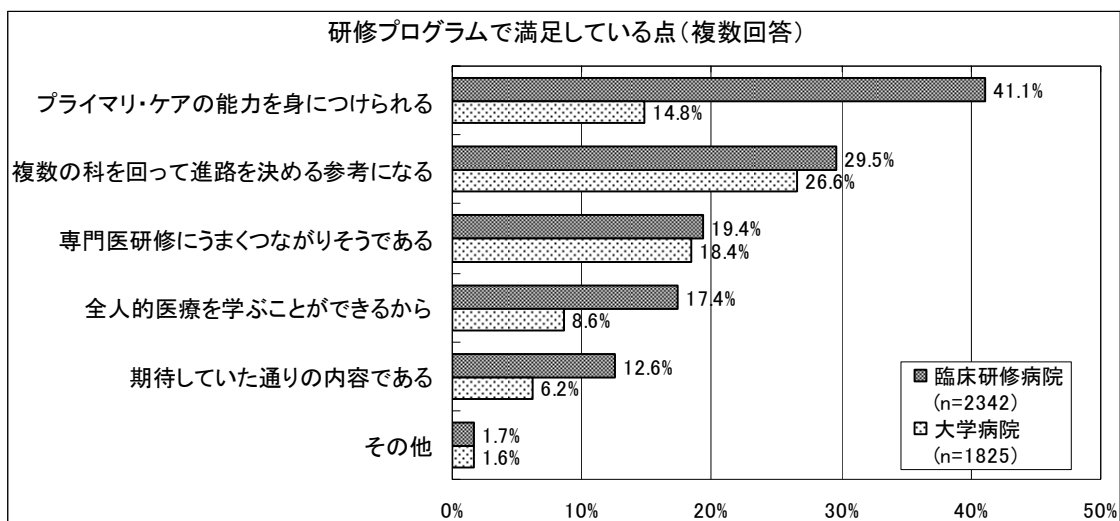


<参考> 17年度1年次「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



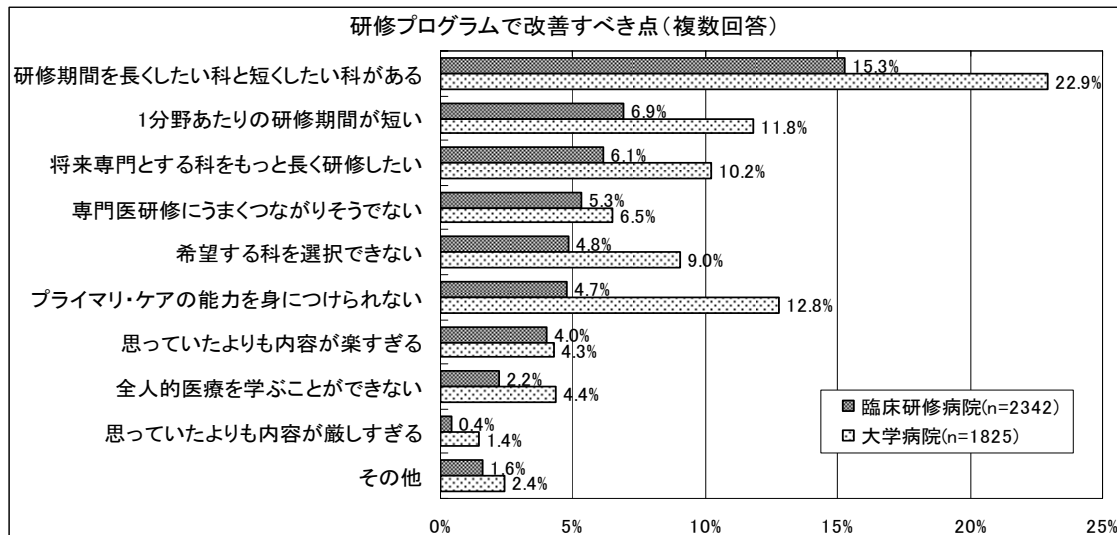
5) 研修プログラムで満足している点

研修プログラムで満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(41.1%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(29.5%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(26.6%) 等が多い。

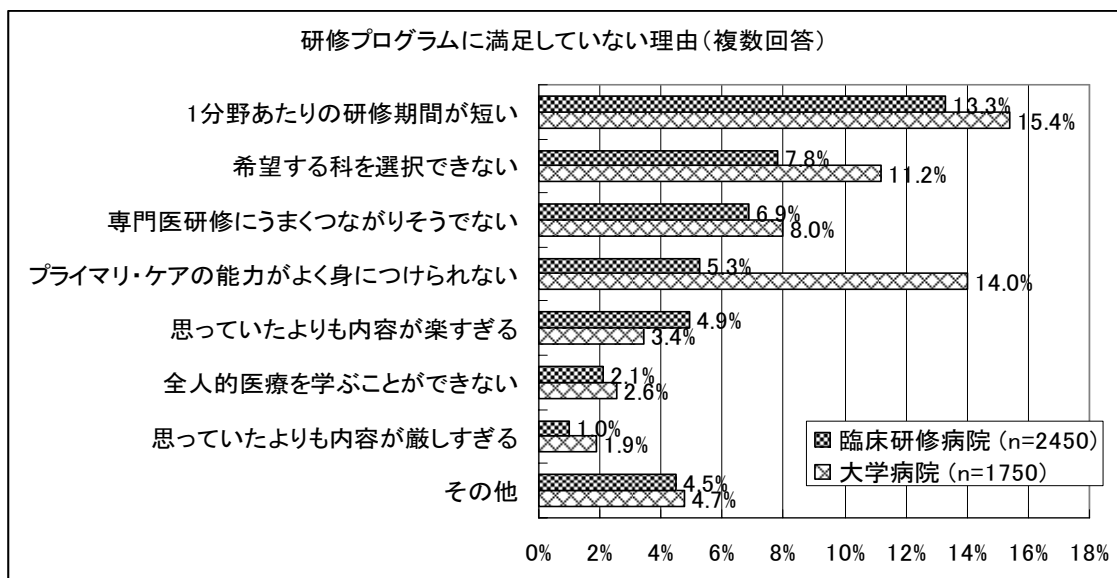


6) 研修プログラムで改善すべき点

研修プログラムで改善すべき点としては、臨床研修病院においても、大学病院においても、「研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある」(15.3%、22.9%)、「1分野あたりの研修期間が短い」(6.9%、11.8%)、「将来専門とする科をもっと長く研修したい」(6.1%、10.2%)、「専門医研修にうまくつながりそうでない」(5.3%、6.5%)、「希望する科を選択できない」(4.8%、9.0%)、「プライマリ・ケアの能力を身につけられない」(4.7%、12.8%)、「思っていたよりも内容が楽すぎる」(4.0%、4.3%)、「全人的医療を学ぶことができない」(2.2%、4.4%)、「思っていたよりも内容が厳しすぎる」(0.4%、1.4%)、「その他」(1.6%、2.4%)等各診療科の研修期間や選択に関するものが多い。



<参考> 17年度1年次「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」

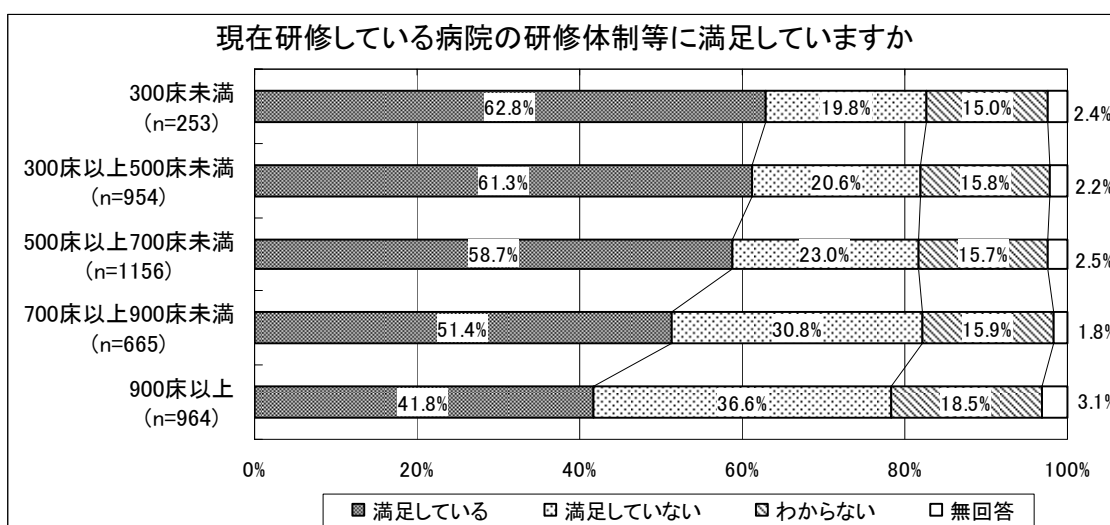


※平成17年度の調査票では、「満足していない」と回答した場合のみ理由を回答する形であったが、平成18年度の調査票では、すべての対象者が「改善すべき点」を回答する形となっている。

(3) 病床規模別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

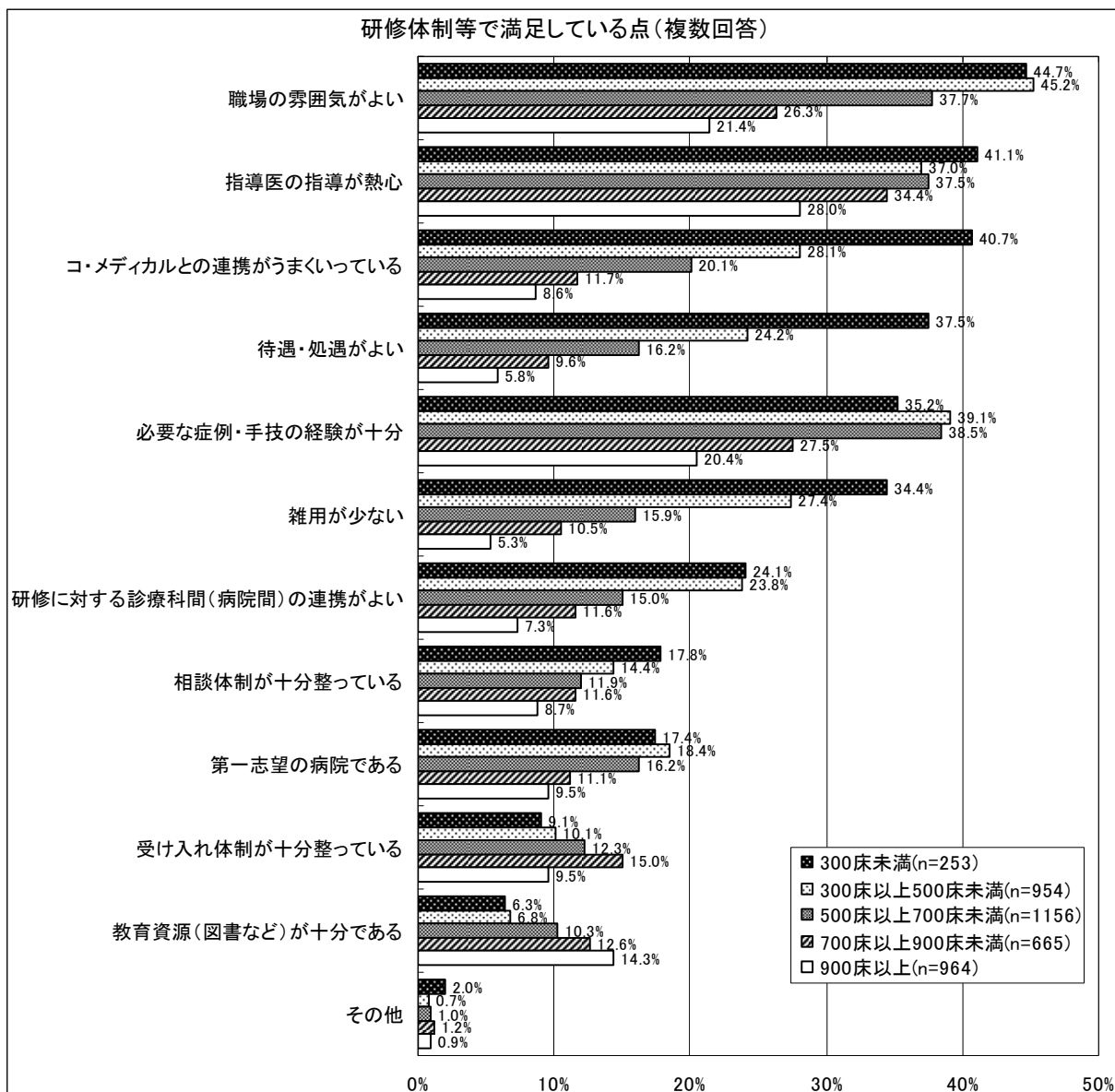
1) 研修体制等についての満足度

病院の研修体制等について満足している者の割合は、300床未満の病院において62.8%、300床以上500床未満の病院において61.3%、500床以上700床未満の病院において58.7%、700床以上900床未満の病院において51.4%、900床未満の病院において41.8%であり、満足していない者の割合は、300床未満の病院において19.8%、300床以上500床未満の病院において20.6%、500床以上700床未満の病院において23.0%、700床以上900床未満の病院において30.8%、900床以上の病院において36.6%であった。



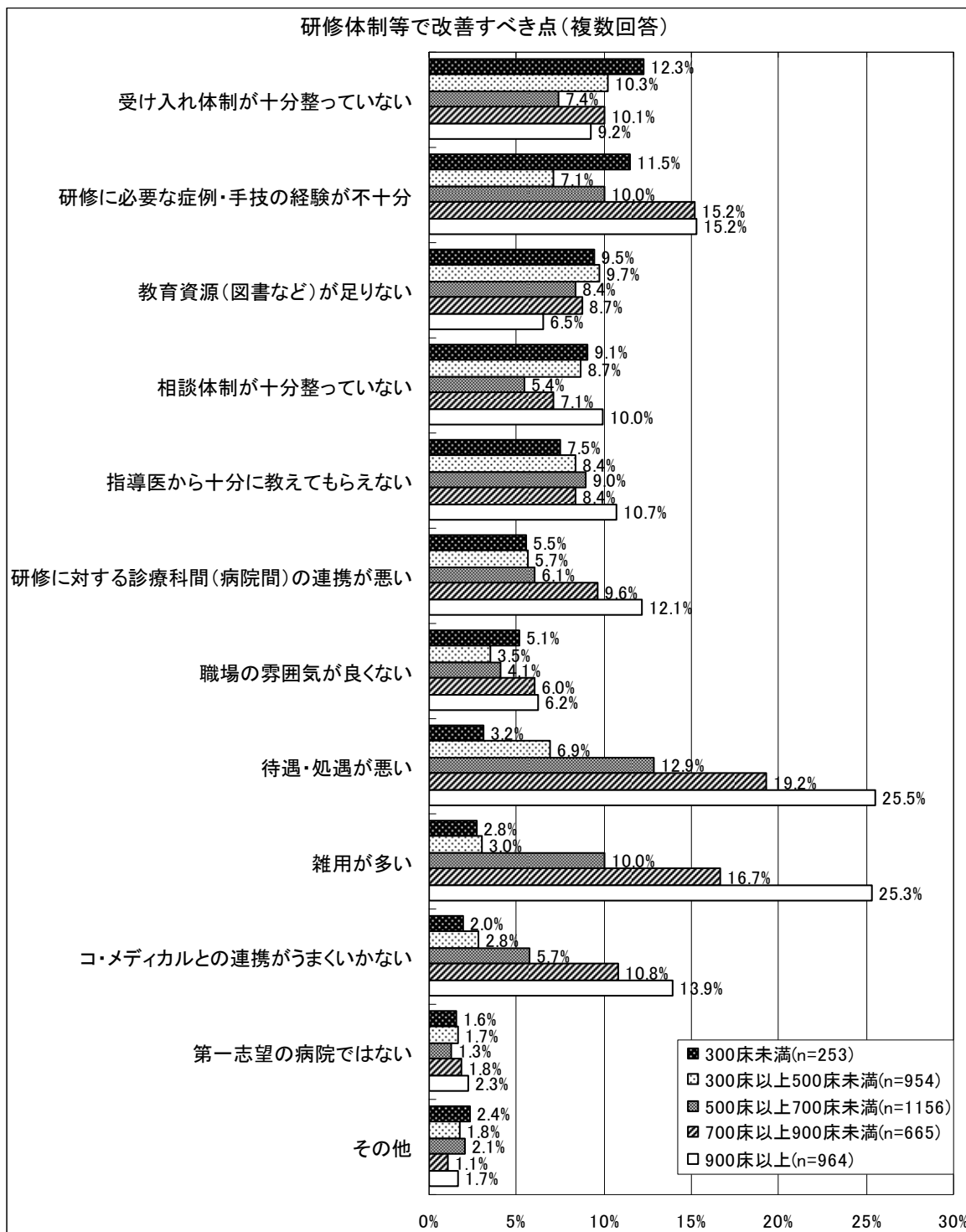
2) 研修体制等で満足している点

満足している点としては、病床規模の小さい病院においては、「職場の雰囲気がよい」「指導医の指導が熱心」「コ・メディカルとの連携がうまくいっている」等が多かった。



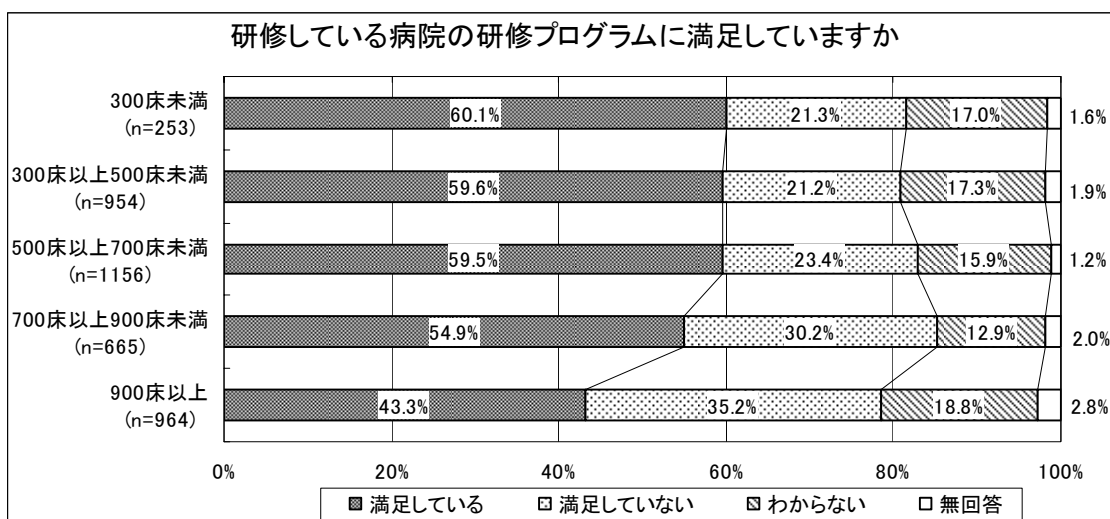
3) 研修体制等で改善すべき点

研修体制等で改善すべき点理由としては、500床未満の病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」等が多く、500床以上の病院においては「雑用が多い」、「待遇・処遇が悪い」等が多かった。



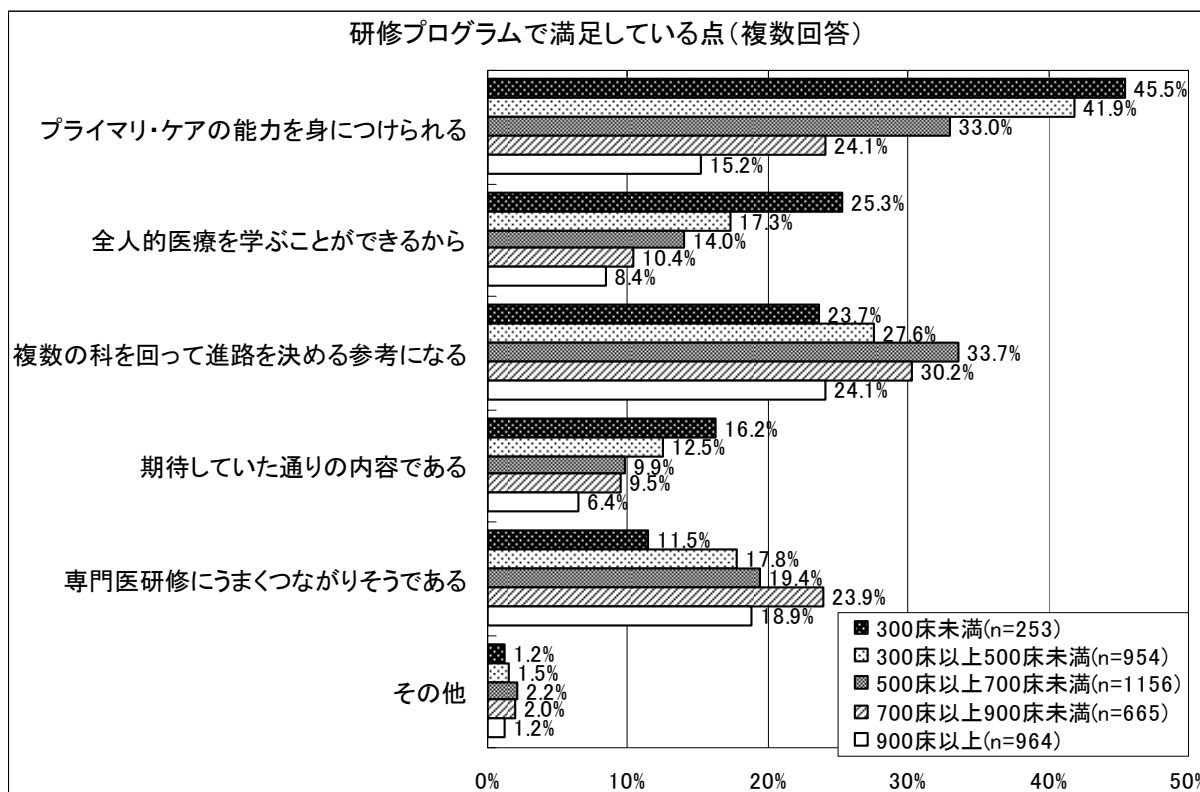
4) 研修プログラムについての満足度

病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、300床未満の病院において60.1%、300床以上500床未満の病院において59.6%、500床以上700床未満の病院において59.5%、700床以上900床未満の病院において54.9%、900床未満の病院において43.3%であり、満足していない者の割合は300床未満の病院において21.3%、300床以上500床未満の病院において21.2%、500床以上700床未満の病院において23.4%、700床以上900床未満の病院において30.2%、900床未満の病院においては35.2%であった。



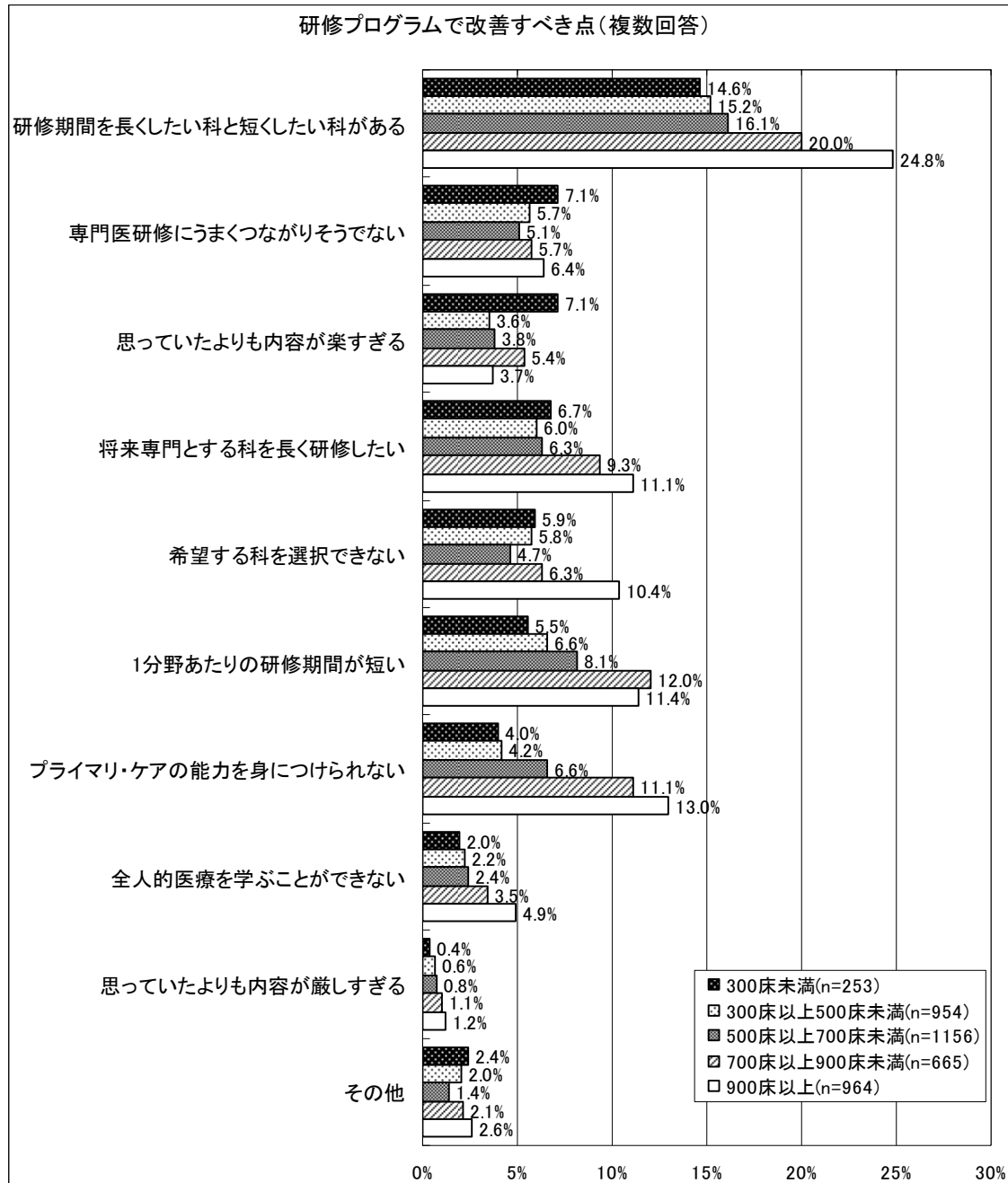
5)研修プログラムで満足している点

研修プログラムで満足している点としては、300床未満の病床の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」、「全人的医療を学ぶことができる」等が多い。また全ての病院においては、「複数の科を回って進路を決める参考になる」が多い。



6)研修プログラムで改善すべき点

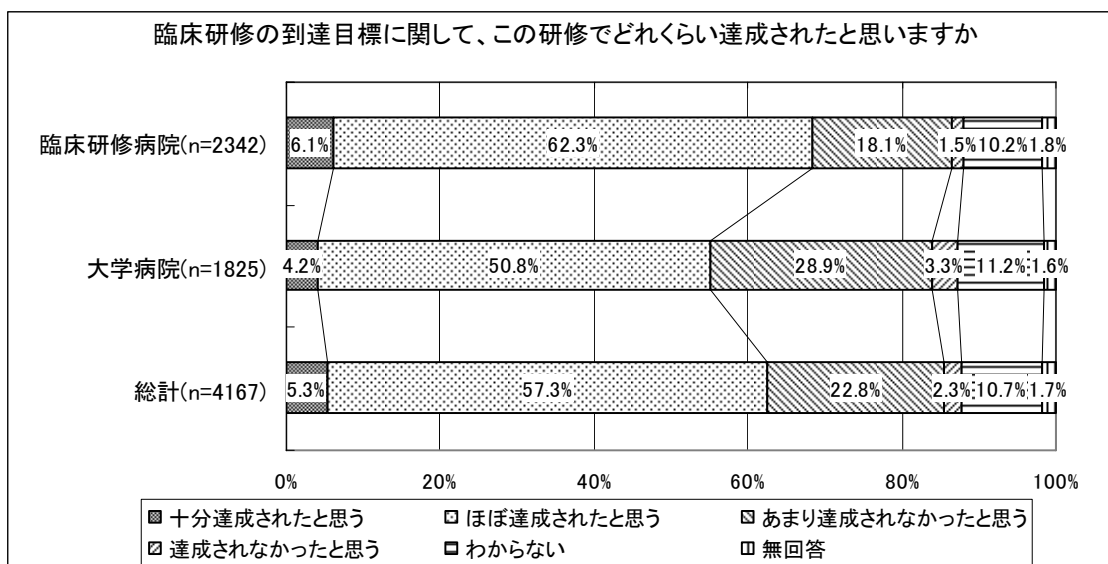
研修プログラムで改善すべき点としては、全ての病院において「研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある」等が多かった。また、病床数の多い病院においては、「プライマリ・ケアの能力を身につけられない」が病床規模の小さい病院よりも多かった。



(4)臨床研修の目標達成度

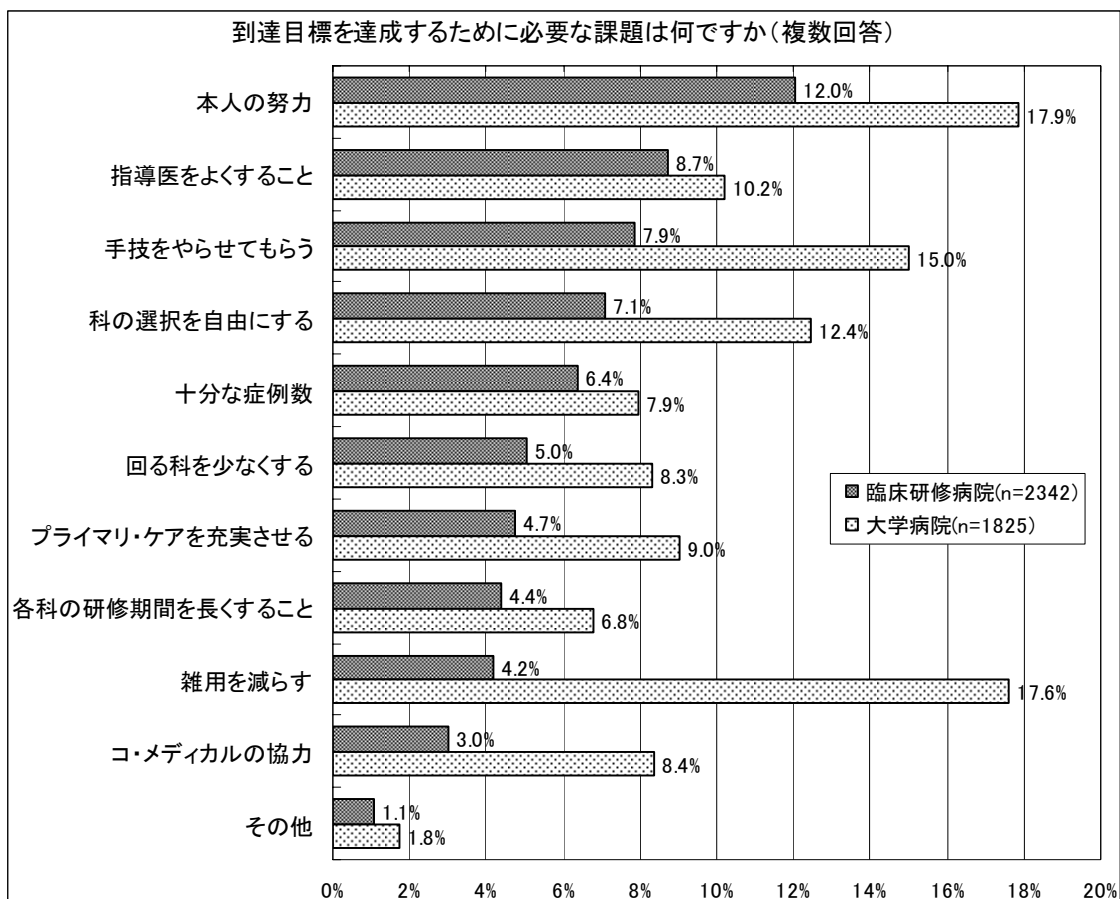
1)達成度

目標が「十分達成されたと思う」、「ほぼ達成されたと思う」と回答した研修医の割合は、全体では62.6%、臨床研修病院では68.4%、大学病院では55.0%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。



2) 達成するために必要な課題

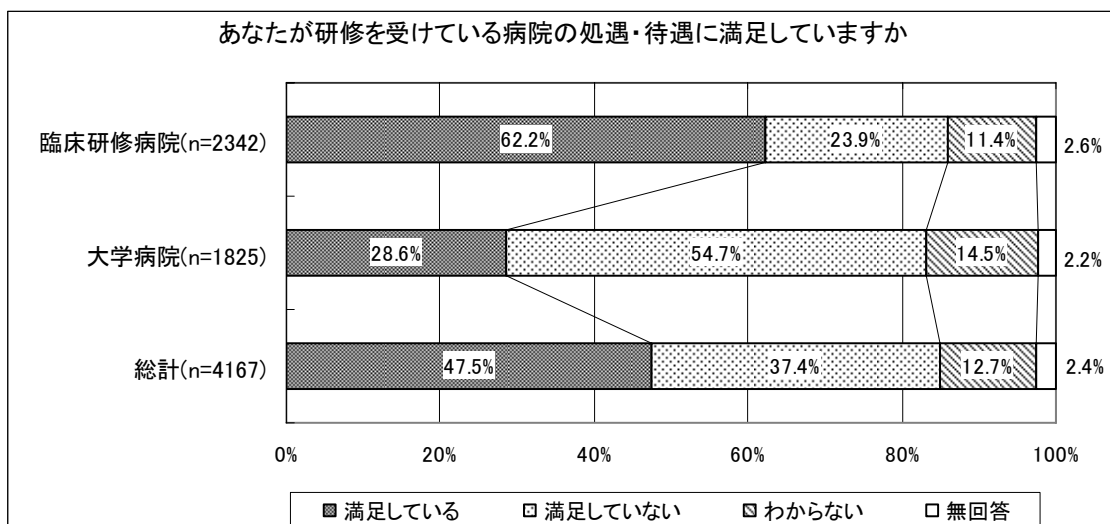
目標を達成するために必要な課題として、臨床研修病院においては「本人の努力」(12.0%)、大学病院においては「本人の努力」(17.9%)「雑用を減らす」(17.6%)「手技をやらせてもらう」(15.0%)等が多い。



(5) 処遇・待遇について

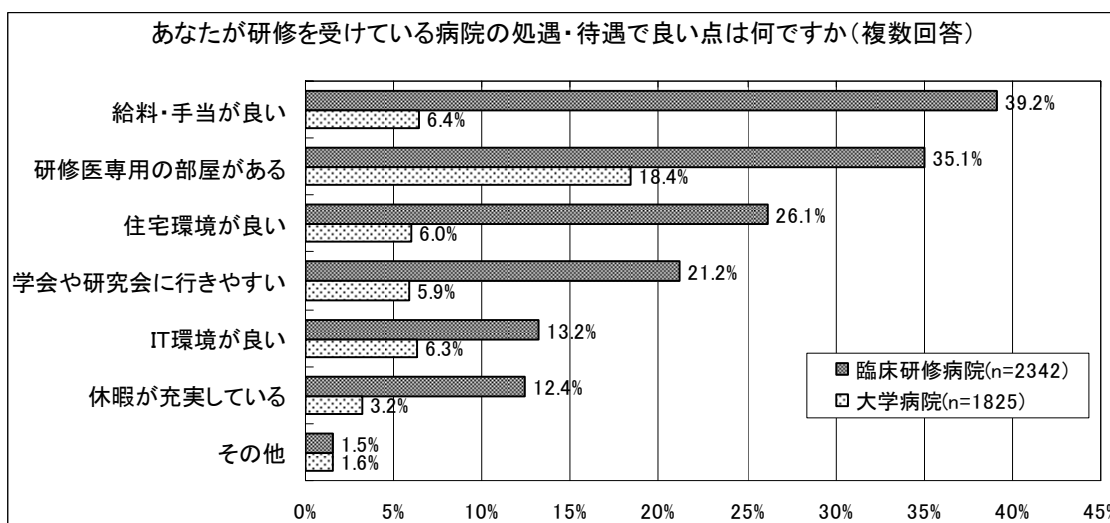
1) 処遇・待遇についての満足度

研修を受けている病院の処遇・待遇について「満足している」とした者の割合は、臨床研修病院において62.2%、大学病院において28.6%であり、「満足していない」とした者は臨床研修病院において23.9%、大学病院において54.7%であった。



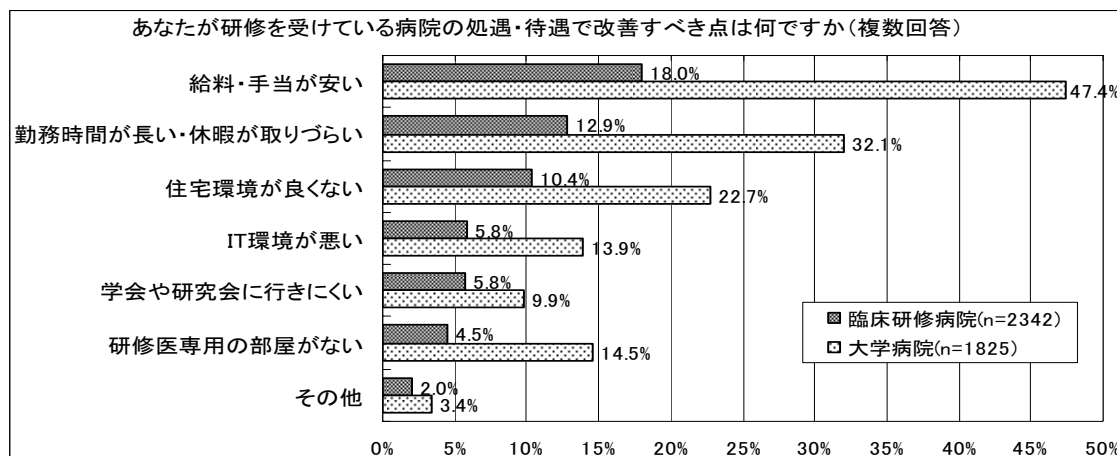
2) 処遇・待遇で良い点(臨床研修病院/大学病院別)

処遇・待遇で良い点としては、臨床研修病院においては「給料・手当が良い(39.2%)」、「研修医専用の部屋がある(35.1%)」、大学病院においては「研修医専用の部屋がある(18.4%)」等が多い。



3) 処遇・待遇で改善すべき点

満足していない理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が安い」(18.0%)、大学病院においては「給料・手当が安い」(47.4%)、「勤務時間が長い・休暇が取りづらい」(32.1%)等が多い。



参考資料

厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室調べ

研修医(1年次生)の平均給与(年収)の比較

区分	平成15年度	平成16年度	16' - 15'	平成17年度	平成18年度	18' - 17'	18' - 15'
	(旧制度)A	(新制度)B	(B-A)	C	D	(D-C)	(D-A)
	円	円	円	円	円	円	円
臨床研修病院	4,245,413	4,223,636	△ 21,777	4,562,902	4,844,780	281,878	599,367
国立①	2,897,122	3,836,323	939,201	4,039,758	4,240,657	200,899	1,343,535
公立	4,286,721	4,186,919	△ 99,802	4,626,322	4,864,002	237,680	577,281
公的	4,547,842	4,284,070	△ 263,772	4,641,408	4,799,200	157,792	251,358
その他	4,635,405	4,378,283	△ 257,122	4,638,145	5,018,570	380,425	383,165
大学附属病院	2,040,051	3,179,289	1,139,238	3,427,337	3,539,287	111,950	1,499,236
国立②	2,383,418	3,433,817	1,050,399	3,710,358	3,862,150	151,792	1,478,732
公立	2,309,335	3,763,542	1,454,207	4,016,824	4,156,021	139,197	1,846,686
私立	1,461,016	2,749,984	1,288,968	2,974,225	3,071,598	97,373	1,610,582
全体	2,645,810	3,653,496	1,007,686	4,004,494	4,273,399	268,905	1,627,589

国立①: 厚生労働省(国立病院機構)、防衛庁、日本郵政公社、労働福祉事業団(労働者健康福祉機構)

国立②: 文部科学省(国立大学法人)

公立: 都道府県、市町村

公的: 日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会

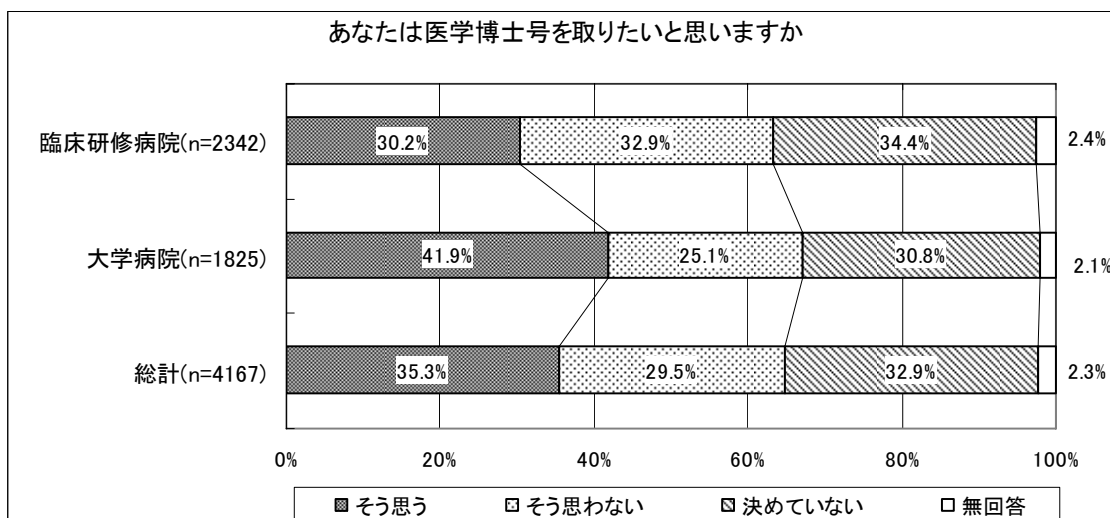
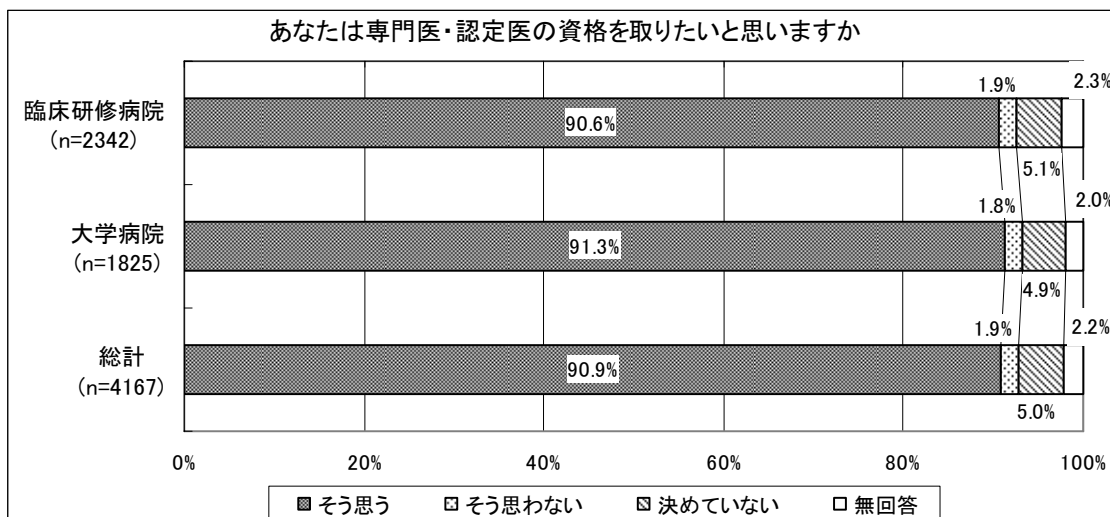
その他: 上記以外の公益法人、医療法人等

(6) 専門医・認定医・博士号の取得希望について

1) 専門医・認定医/医学博士の資格取得希望(臨床研修病院/大学病院別)

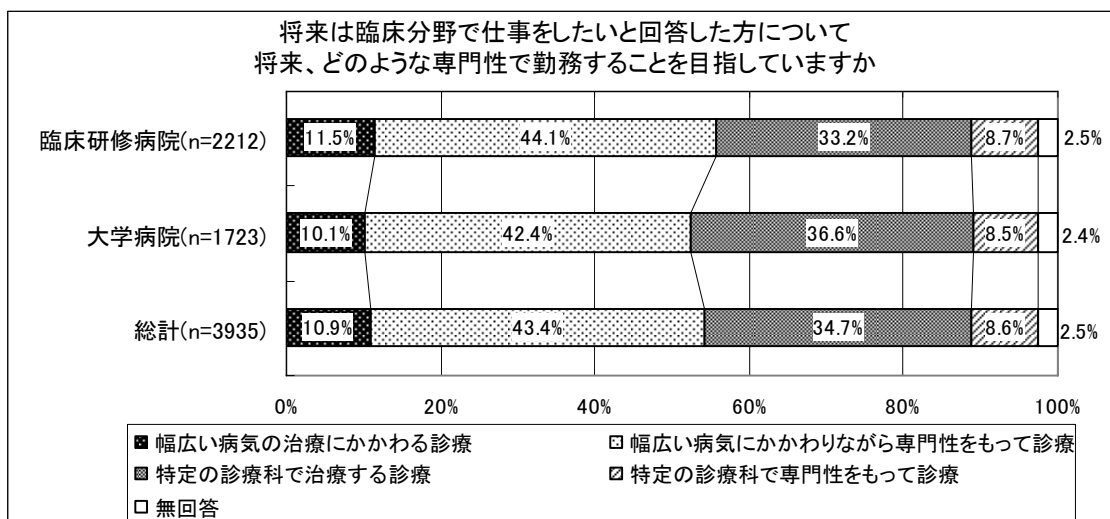
研修医が専門医・認定医の取得を希望している割合は、臨床研修病院では90.6%、大学病院では91.3%であった。

また、研修医が博士号の取得を希望している割合は、臨床研修病院では30.2%、大学病院では41.9%であった。



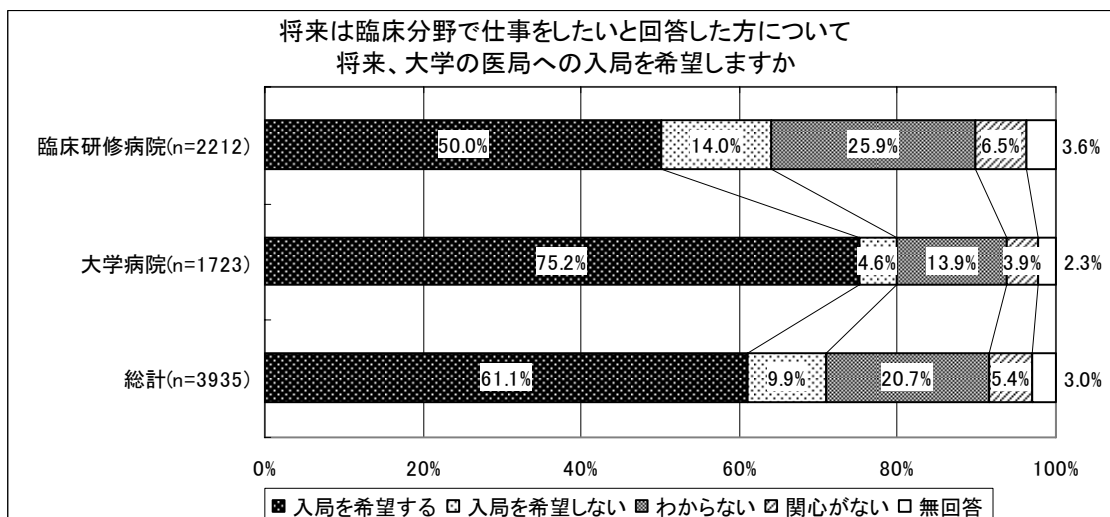
2) 専門性の範囲(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医 3,935 人において、「幅広い病気の治療にかかわりながらも特定の分野で専門性をもって診療したい」が43.4%、「特定の診療科対象患者を幅広く治療する医師として診療したい」が 34.7%であった。



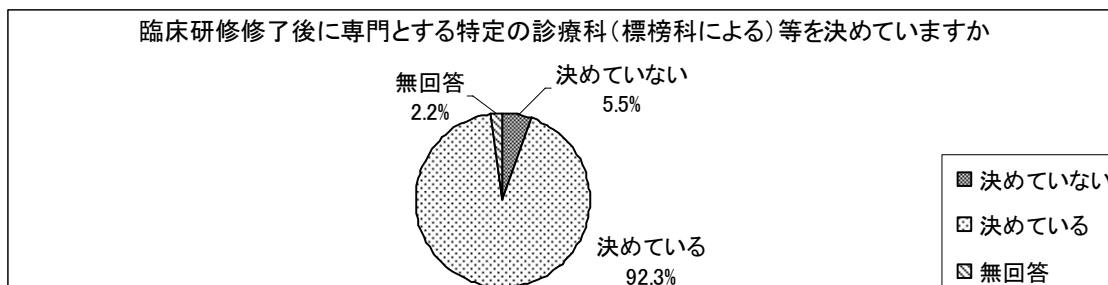
(7) 大学の医局へ入る希望(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医 3,935 人において、大学の医局へ「入局を希望する」と回答した割合は、臨床研修病院にて 50.0%、大学病院において 75.2%であった。



(8) 臨床研修修了後に進む診療科を決めているかどうか

臨床研修修了後に専門とする診療科を決めている者は3,847人(92.3%)であった。



(9) 希望する診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた3,847人のうち、最も多い科は「内科」で11.3%であった。また、「小児科」は7.6%、「産婦人科」は4.3%、「麻酔科」は6.8%であった。「小児科」、「麻酔科」に関しては、20代医療施設従事医師診療科別割合(平成14年)よりも高くなっている。

診療科	人数	割合			
内科	433	11.3%	神経内科	76	2.0%
小児科	293	7.6%	総合診療科	57	1.5%
外科	275	7.1%	心臓血管外科	52	1.4%
消化器科	268	7.0%	リウマチ科	29	0.8%
麻酔科	261	6.8%	呼吸器外科	29	0.8%
整形外科	240	6.2%	病理	28	0.7%
循環器科	213	5.5%	小児外科	26	0.7%
精神科	209	5.4%	リハビリテーション科	18	0.5%
産婦人科	166	4.3%	基礎系	17	0.4%
呼吸器科	139	3.6%	心療内科	12	0.3%
眼科	136	3.5%	緩和ケア	10	0.3%
皮膚科	128	3.3%	美容外科	9	0.2%
放射線科	117	3.0%	アレルギー科	8	0.2%
脳神経外科	94	2.4%	医療行政職	1	0.0%
泌尿器科	94	2.4%	その他	129	3.4%
耳鼻咽喉科	93	2.4%	無回答	14	0.4%
救命救急	93	2.4%	総計	3,847	100.0%
形成外科	80	2.1%			

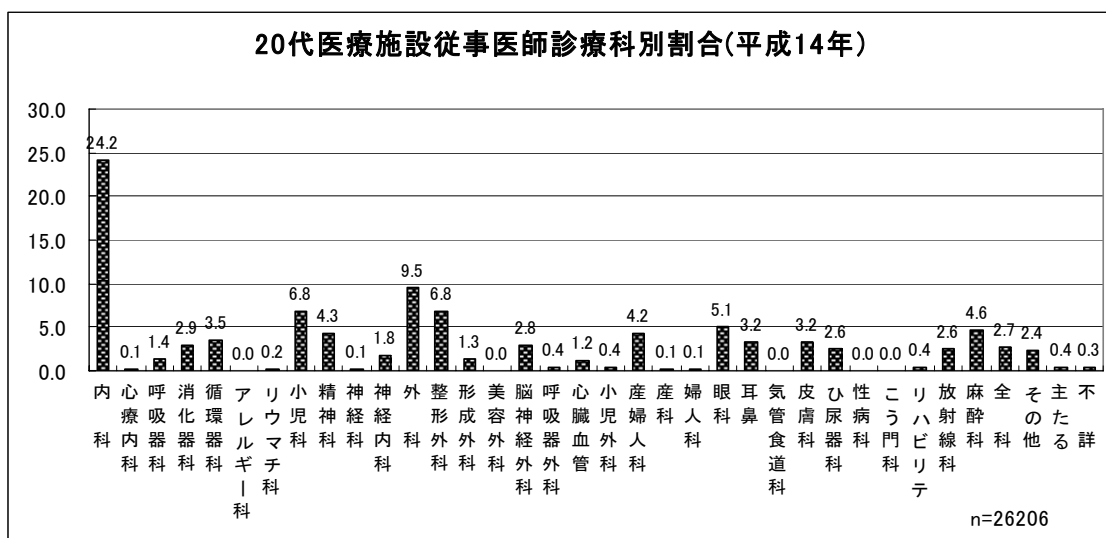
内科系

	人数	割合
内科	433	11.3%
消化器科	268	7.0%
循環器科	213	5.5%
呼吸器科	139	3.6%
神経内科	76	2.0%
総合診療科	57	1.5%
リウマチ科	29	0.8%
心療内科	12	0.3%
総計	1,227	32.0%

外科系(産婦人科含まない)

	人数	割合
外科	275	7.1%
整形外科	240	6.2%
眼科	136	3.5%
皮膚科	128	3.3%
脳神経外科	94	2.4%
泌尿器科	94	2.4%
耳鼻咽喉科	93	2.4%
形成外科	80	2.1%
心臓血管外科	52	1.4%
呼吸器外科	29	0.8%
小児外科	26	0.7%
美容外科	9	0.2%
総計	1,256	32.5%

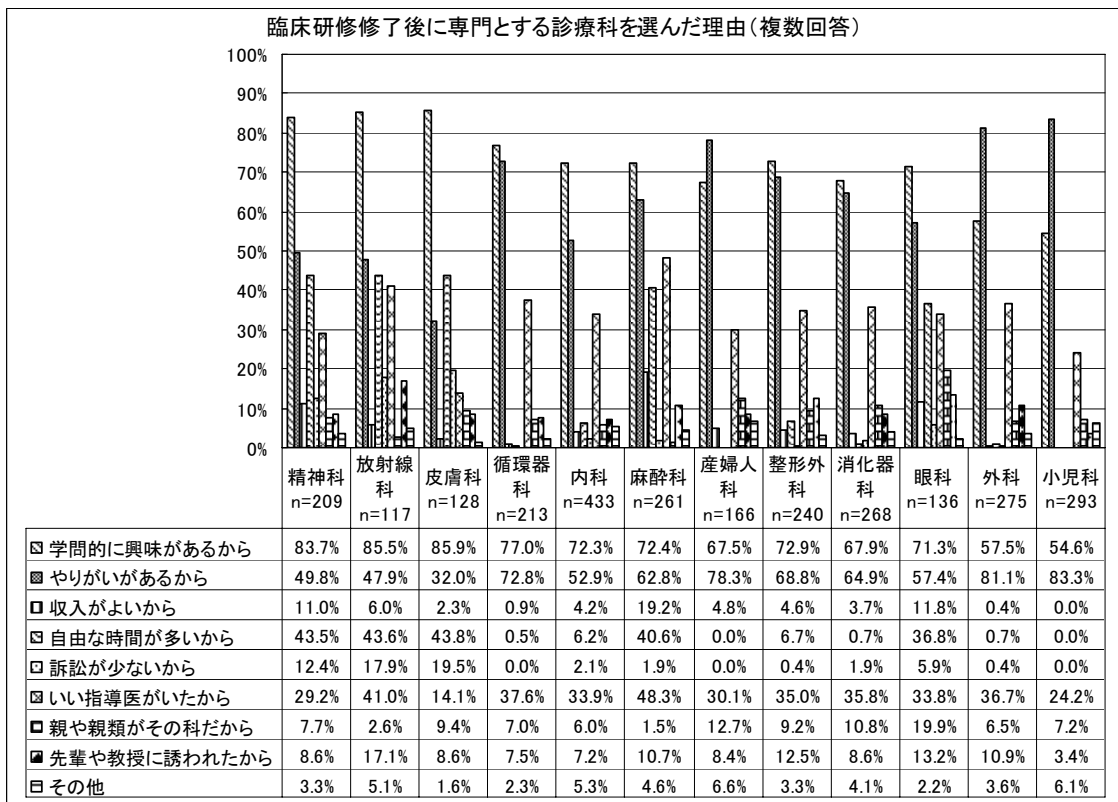
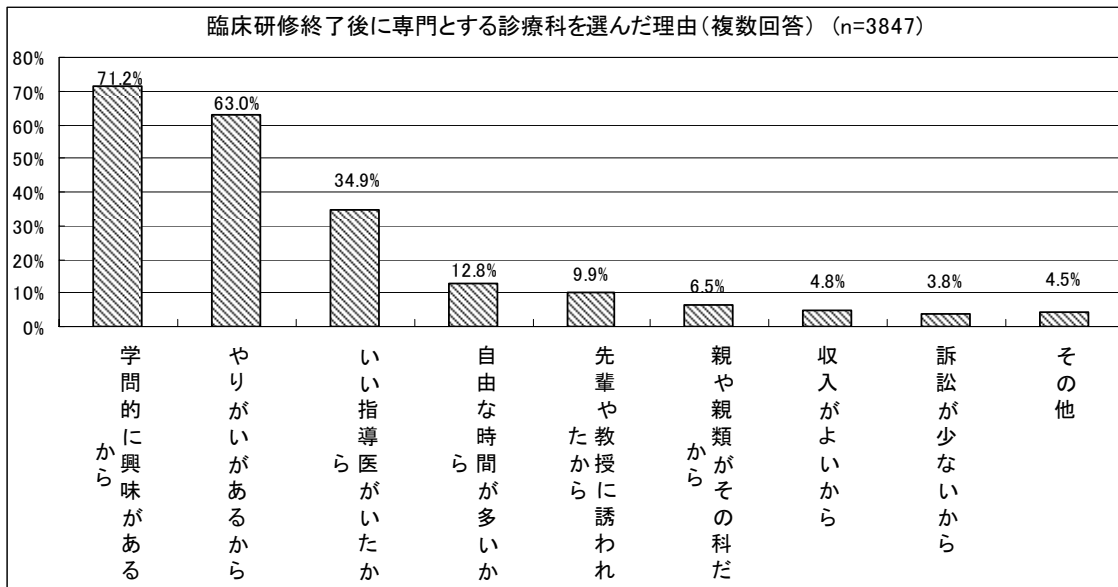
<参考> 20代医療施設従事医師診療科別割合



厚生労働省大臣官房統計情報部 平成14年医師・歯科医師・薬剤師調査
 ※平成16年度より開始した医師臨床研修制度の影響を除くため、平成14年調査結果を提示した。

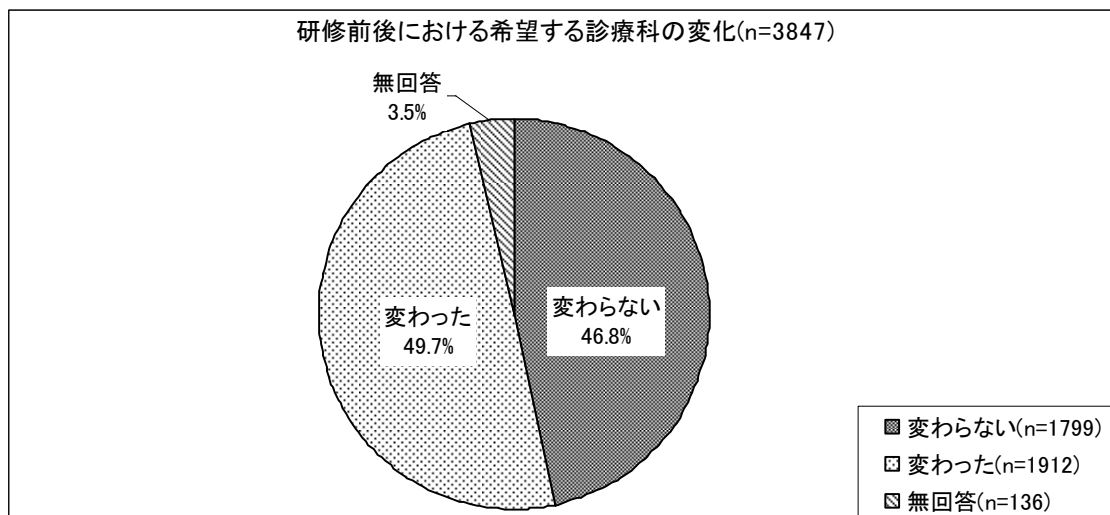
(10)(診療科別) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(71.2%)、次いで、「やりがいがある」(63.0%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科では「学問的に興味がある」が80%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



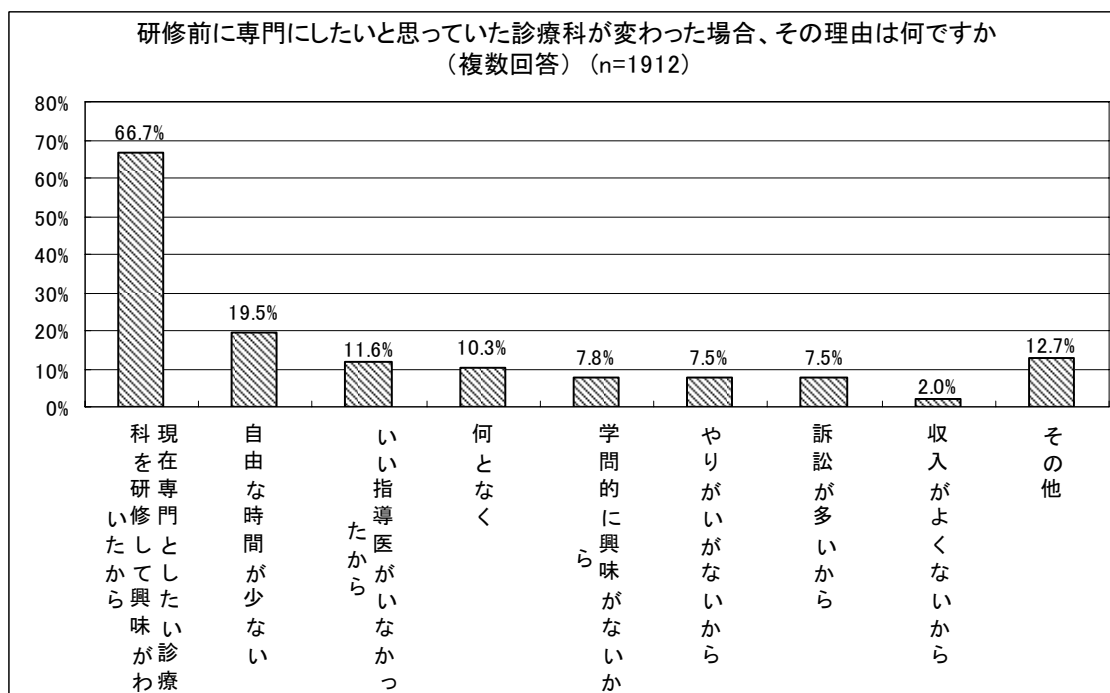
(11)(診療科別) 研修後の診療科変更について

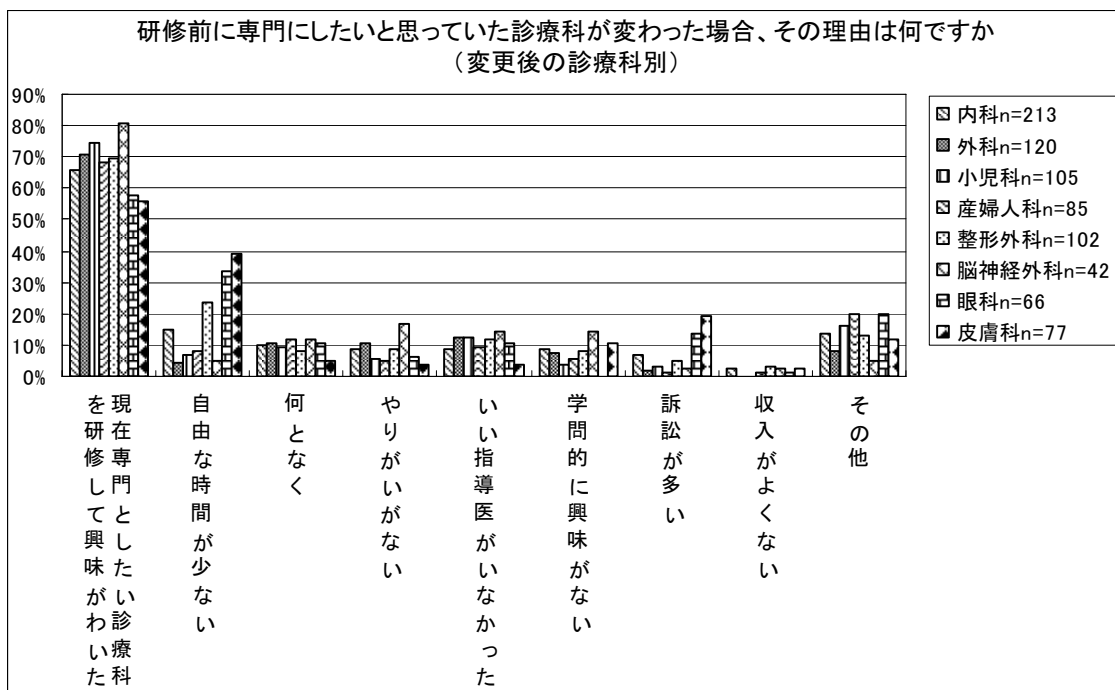
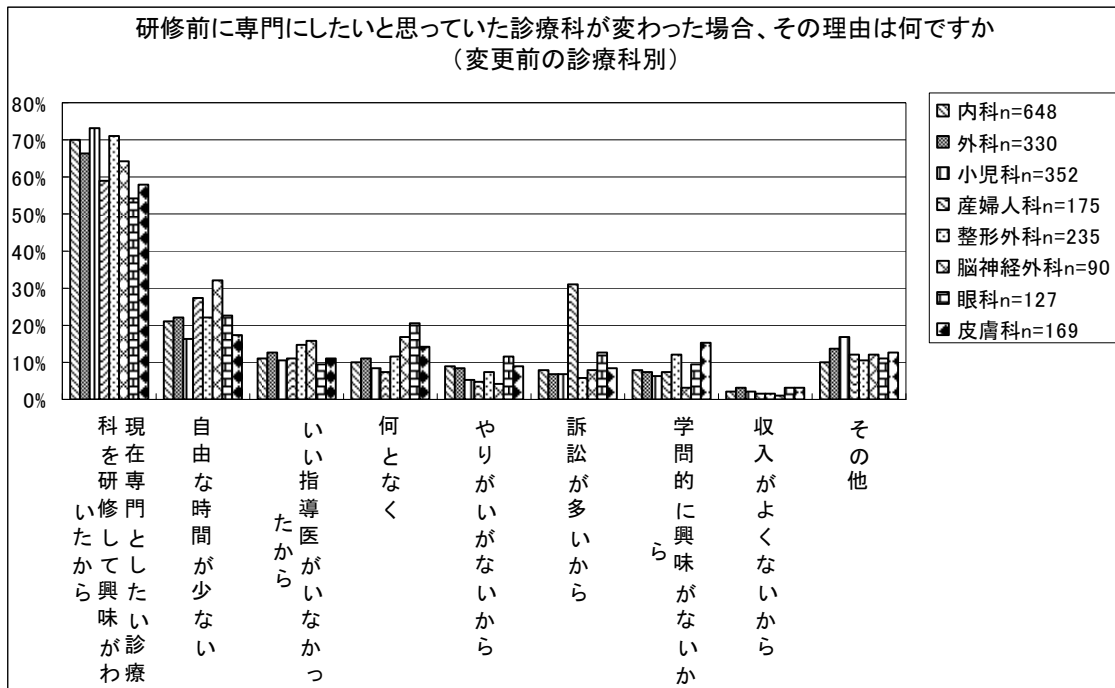
臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1,912人(49.7%)であった。



(12)(診療科別) 診療科を変更した理由

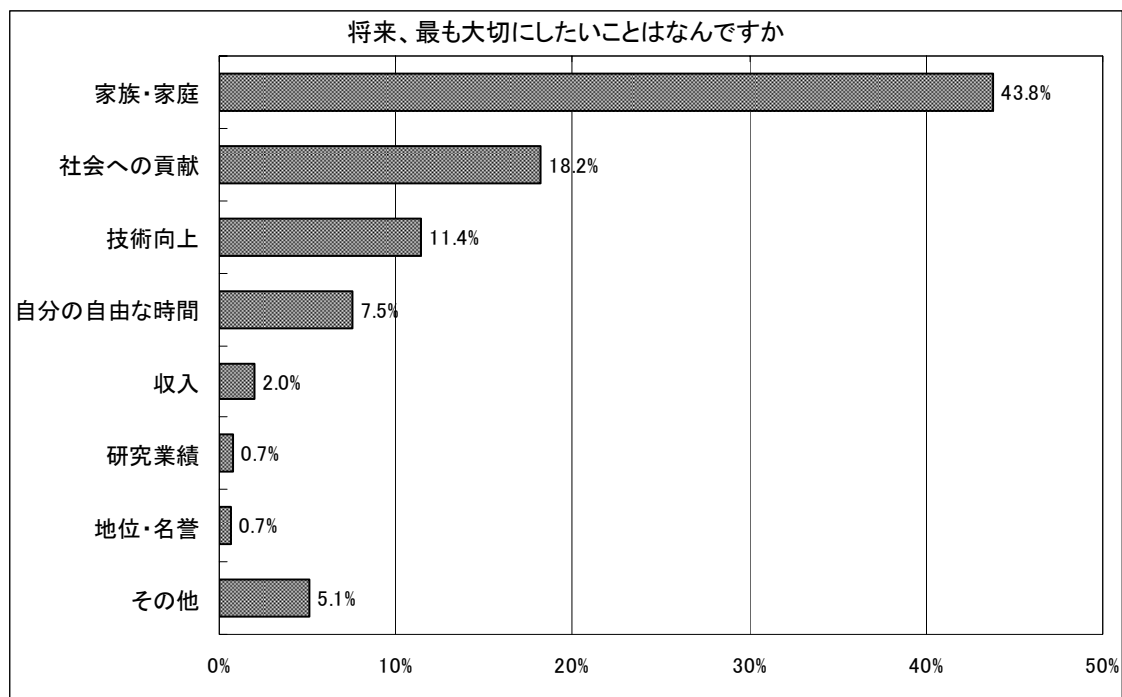
診療科を変更した理由は「現在専門としたい診療科を研修して興味があったから」(66.7%)が最も多かった。





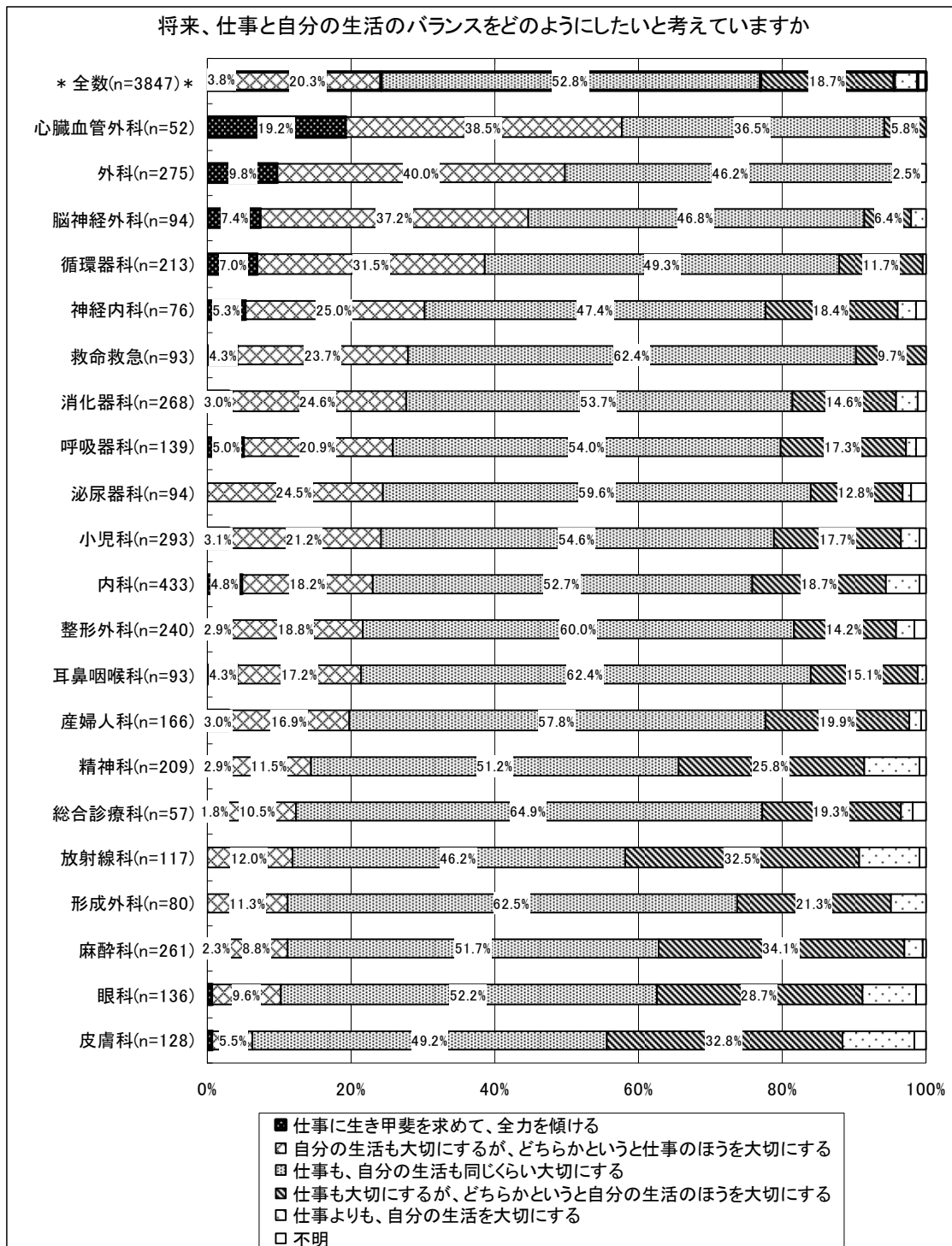
(13)大切に思うことについて

将来、最も大切にしたいことは「家族・家庭」が最も多く、43.8%であった。ついで「社会への貢献」が18.2%、「技術向上」が11.4%であった。



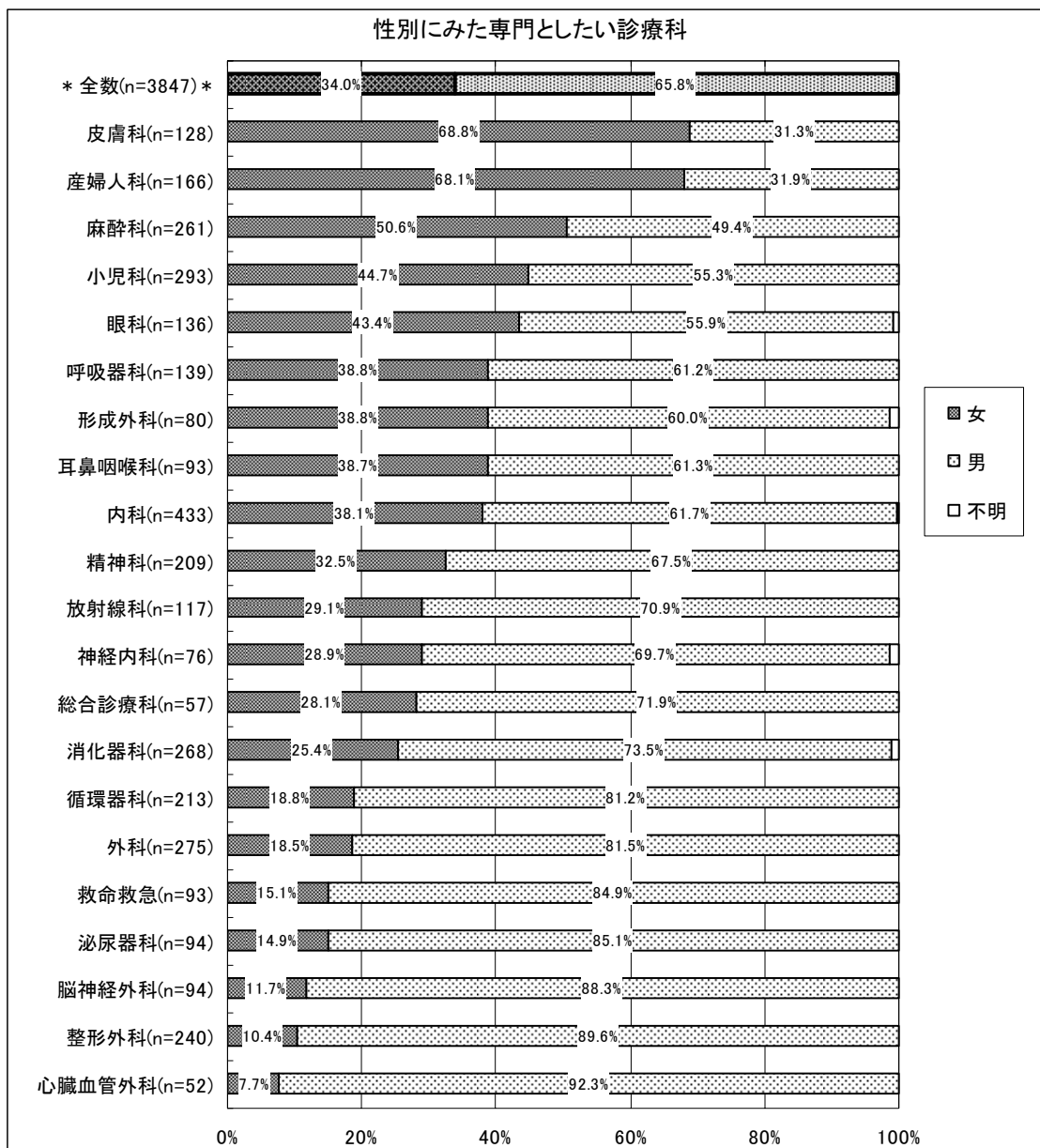
(14)(診療科別) 仕事と生活のバランスについて

仕事と生活のバランスについては、「仕事に全力を傾ける」「どちらか」というと仕事を大切にすることを選んだ者は24.1%、「仕事も生活も同じくらい大切にすることを選んだ者は52.8%、「どちらか」というと自分の生活を大切にすることを「自分の生活を大切にすることを選んだ者は22.1%であった。



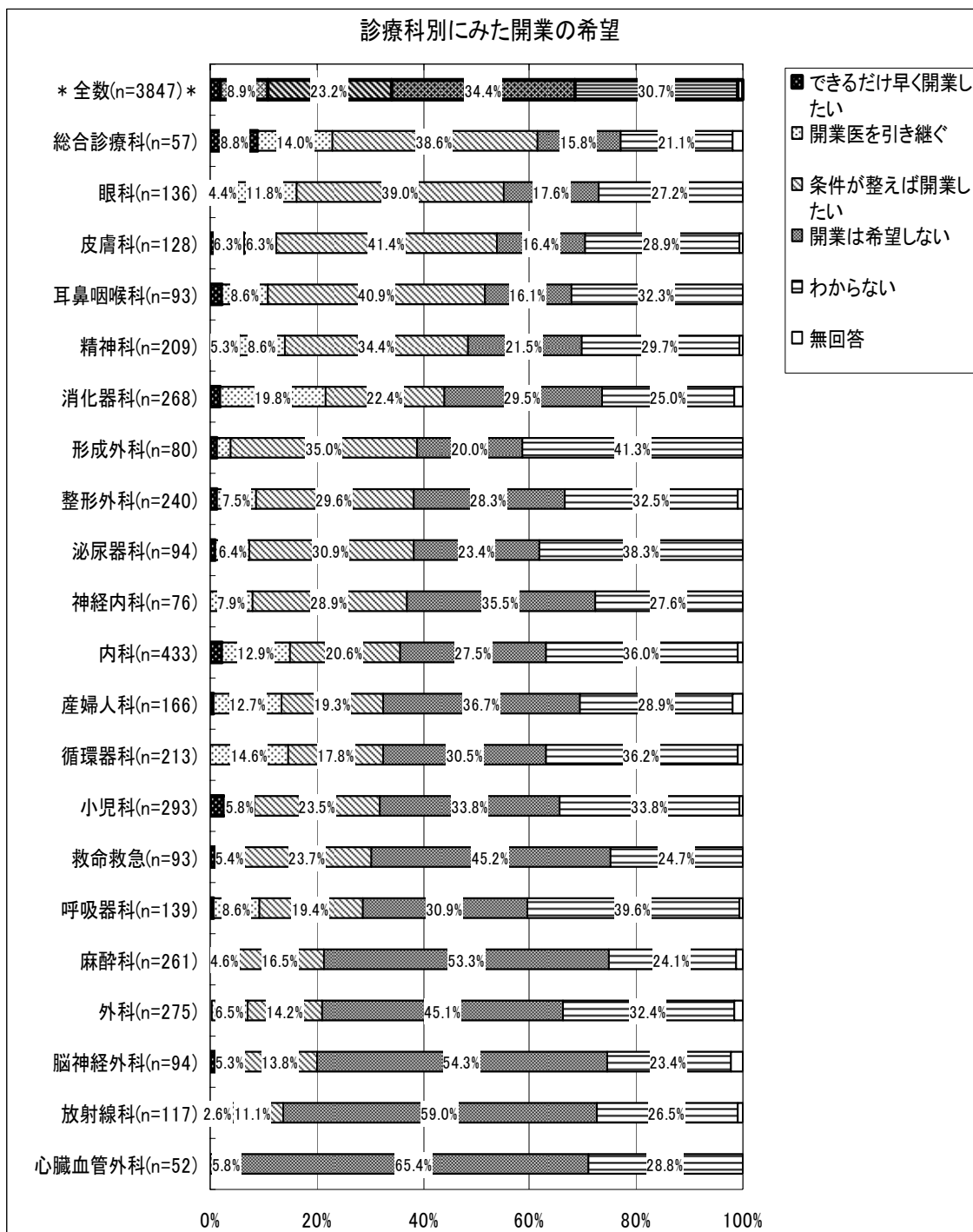
(15) 性別にみた専門としたい診療科

女性医師の割合が高いのは、皮膚科（68.8%）、産婦人科（68.1%）、麻酔科（50.6%）等であり、女性医師の割合が低いのは、心臓血管外科（7.7%）、整形外科（10.4%）、脳神経外科（11.7%）等であった。



(16) 将来の開業希望

将来、開業を希望する割合（「できるだけ早く」「引き継ぐ」「条件が整えば」の計）が多い科は総合診療科、眼科、皮膚科等であり、少ない科は心臓血管外科、放射線科等であった。



※ 開業を希望する割合（「できるだけ早く」、「引き継ぐ」、「条件が整えば」の計）順